

●保育科の教育目的・教育目標

保育科では、〈人間力〉〈遊び力〉〈表現力〉〈思考力〉を柱とした保育・教育、福祉の専門性を身に付け、未来を切り拓く力をもった総合的人間力の高い人材の育成を目標としています。

特に、“子どもの遊び”の本質を理解することや、子どもをはじめとした人々の表現を支える感受性や表現力をもった保育者を養成します。

●卒業・免許・資格に必要な修得単位数

区 分	卒業に必要な修得単位数	幼稚園教諭二種免許取得に必要な修得単位数	保育士資格取得に必要な修得単位数
基 礎 科 目	16単位以上 仏教学Ⅰ・Ⅱは必修	16単位以上 日本国憲法 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 情報リテラシー・体育は必修	16単位以上 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 体育は必修
保育科専門教育科目	48単位以上 教育原理 保育の心理学は必修	48単位以上	64単位以上
合計	64単位以上	64単位以上	80単位以上

●基礎科目[2024年度入学者]

科 目	科目分類 番号	単 位 数	資格要件		配当 年次	授業 区分	履修方法・注意事項
			幼免	保育士			
仏 教 学 Ⅰ	A18両-1	②	※	※	1	講義	(1) 基礎科目において卒業に必要な単位数は卒業必修科目を含め、16単位以上修得しなければならない。 (2) 単位数を○で囲んである科目は、卒業必修科目を示す。 (3) ※印の科目は、資格必修科目を示す。
仏 教 学 Ⅱ	A18両-2	②	※	※	1	講義	
心 理 学	A14基-2	2			2	講義	
日 本 国 憲 法	A32幼-2	2	※		2	講義	
生命科学と生物	A46基-2	2			2	講義	
情報リテラシー	A01幼-1	2	※		1	講義	
英語コミュニケーションⅠ	A83両-1	1	※	※	1	演習	
英語コミュニケーションⅡ	A83両-2	1	※	※	2	演習	
体 育	A78両-1	1	※	※	1	講義	
体 育	A78両-1	1	※	※	1	実技	
野 外 文 化	A36基-2	1			2	演習	
ボランティア実習	A36基-2	1			2	実習	
基 礎 講 座	A37基-1	1			1	演習	
日 本 語 表 現	A81基-1	2			1	講義	
ライフデザイン	A36基-2	2			2	講義	

●保育科専門教育科目[2024年度入学者]

	科 目	科目分類 番号	単 位 数	資格要件		配当年次	授業 区分	履修方法・注意事項
				幼免	保育士			
専門教育科目	保 育 原 理	B37保-1	2		※	1	講義	(1) 専門教育科目において卒業に必要な単位数は卒業必修科目を含め、48単位以上修得しなければならない。 (2) 単位数を○で囲んである科目は、卒業必修科目を示す。 (3) ※印の科目は、資格必修科目を示す。 (4) 保育士資格取得希望者は★印と☆印の12科目のうち、6単位以上を選択必修のこと。そのうち☆印の科目を2単位以上履修することが望ましい。 ★印 幼児教育制度論 教育相談 教育方法 ☆印 子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと表現Ⅱ 児童文化Ⅰ 児童文化Ⅱ 現代保育実践の課題A 現代保育実践の課題B
	教 育 原 理	B37両-1	②	※	※	1	講義	
	子 ども 家 庭 福 祉	B36保-1	2		※	1	講義	
	社 会 福 祉	B36保-1	2		※	1	講義	
	子 育 て 支 援	B36保-2	1		※	2	演習	
	社 会 的 養 護 Ⅰ	B36保-1	2		※	1	講義	
	保 育 者 論	B37両-2	2	※	※	2	講義	
	幼 児 教 育 制 度 論	B37両-2	2	※	★	2	講義	
	保 育 の 心 理 学	B14両-1	②	※	※	1	講義	
	子ども家庭支援の心理学	B14両-1	2	※	※	2	講義	
	子どもの理解と援助	B14両-2	1	※	※	1	演習	
	子どものからだと保健	B49両-1	2	※	※	1	講義	
	子どもの健康と安全	B49両-2	1	※	※	1	演習	
	子どもの食と栄養Ⅰ	B49保-1	1		※	2	演習	
	子どもの食と栄養Ⅱ	B49保-2	1		※	2	演習	
	子ども家庭支援論	B36保-2	2		※	2	講義	
	教 育 相 談	B14両-2	2	※	★	2	講義	
	保育・教育課程論	B37両-2	2	※	※	2	講義	
	保 育 内 容 総 論	B37両-2	1	※	※	2	演習	
	子 ども と 健 康	B49両-2	1	※	☆	2	演習	
	子どもと人間関係	B37両-2	1	※	☆	2	演習	
	子どもと環境	B37両-2	1	※	☆	1	演習	
	子どもと言葉	B37両-2	1	※	☆	1	演習	
	子どもと表現Ⅰ	B37両-1	1	※	※	1	演習	
	子どもと表現Ⅱ	B37両-2	1		☆	2	演習	
	保育内容「健康」	B37両-2	1	※	※	2	演習	
	保育内容「人間関係」	B37両-2	1	※	※	2	演習	
	保育内容「環境」	B37両-2	1	※	※	1	演習	
	保育内容「言葉」	B37両-1	1	※	※	1	演習	
	保育内容「身体表現」	B37両-1	1	※	※	1	演習	
	保育内容「音楽表現」	B37両-1	1	※	※	1	演習	
	保育内容「造形表現Ⅰ」	B37両-1	1	※	※	2	演習	
	保育内容「造形表現Ⅱ」	B37両-2	1	※	※	2	演習	
	乳 児 保 育 Ⅰ	B37保-1	2		※	1	講義	
	乳 児 保 育 Ⅱ	B37保-2	1		※	2	演習	
	特別な支援を要する 子どもの理解と支援Ⅰ	B36両-1	1	※	※	1	演習	
	特別な支援を要する 子どもの理解と支援Ⅱ	B36両-2	1	※	※	2	演習	
	社 会 的 養 護 Ⅱ	B36保-2	1		※	2	演習	
	教 育 方 法	B37両-1	2	※	★	1	講義	
	児 童 文 化 Ⅰ	B37保-1	1		☆	1	演習	
	児 童 文 化 Ⅱ	B37保-2	1		☆	1	演習	

	科 目	科目分類 番号	単 位 数	資格要件		配当年次	授業 区分	履修方法・注意事項
				幼免	保育士			
専門 教育 科目	現代保育実践の課題 A	B37保-2	2		☆	2	講義	(5) 保育士資格取得希望者は、◆印の科目のうち同じ数字(ローマ数字)の2科目3単位以上を選択必修のこと。 (6) 「保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の単位修得後2年以上経過し、保育実習を行う際には、「保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の該当する科目を聴講しなければならない。
	現代保育実践の課題 B	B37保-2	1		☆	2	演習	
	音 楽 基 礎 Ⅰ	B76両-1	1	※	※	1	演習	
	音 楽 基 礎 Ⅱ	B76両-2	1	※	※	1	演習	
	造 形 基 礎 Ⅰ	B72両-1	1	※	※	1	演習	
	造 形 基 礎 Ⅱ	B72両-2	1	※	※	1	演習	
	保 育 実 習 所 Ⅰ (保 育 実 習 所)	B37保-1	2		※	1	実習	
	保 育 実 習 所 Ⅰ (施 設)	B37保-1	2		※	1	実習	
	保 育 実 習 Ⅱ	B37保-2	2		◆	2	実習	
	保 育 実 習 Ⅲ	B37保-2	2		◆	2	実習	
	保 育 実 習 指 導 Ⅰ (保 育 実 習 所)	B37保-1	1		※	1	演習	
	保 育 実 習 指 導 Ⅰ (施 設)	B37保-1	1		※	1	演習	
	保 育 実 習 指 導 Ⅱ	B37保-2	1		◆	2	演習	
	保 育 実 習 指 導 Ⅲ	B37保-2	1		◆	2	演習	
	学 校 体 験 活 動	B37幼-1	1	※		1	実習	
	教 育 実 習	B37幼-2	4	※		2	実習	
	保 育・教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)	B37両-2	2	※	※	2	演習	